

平成 28 年度 事業報告

兵庫セルフセンターが発足して 13 年目を迎えた平成 28 年度は、前年度に引き続き、兵庫県委託事業・神戸ふれあい工房店舗運営・障害福祉サービス事業「マイ・ワーク S E L P」の運営を通じて、各拠点、事業部門間が連携した販路拡大等の中間支援機能の強化と業務効率化に注力し、下記 3 点の成果があった。

- IT ツールを活用した法人本部・店舗・事業所等の情報共有や事業の連携強化。
- 法人本部による各事業・拠点の資金管理
- 職員の定着とスキルアップ

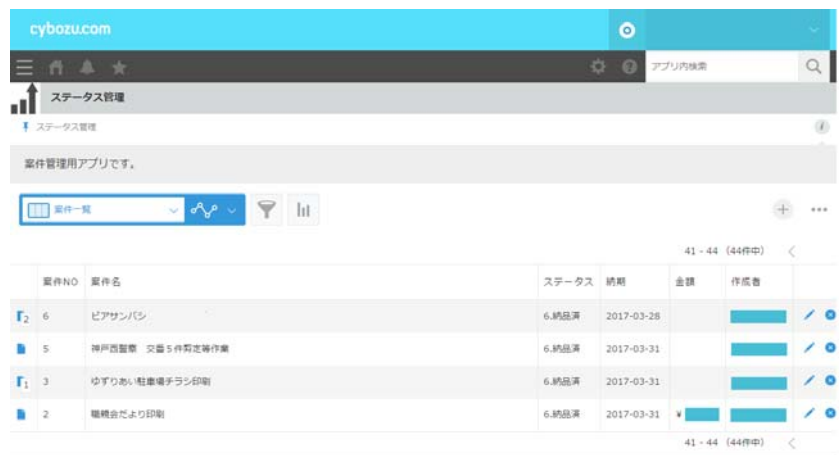
また年度初めに定義した我々の最大の機能である「障害福祉事業所の販路と人を支援する」ことを具現化するべく、長らく開催出来ていなかった自主開催セミナーを兵庫県社会就労センター協議会と共に開催した。

～ サイボウズ Kintone を活用し開発した「ステータス管理」アプリ ～

(引合から納品までの状況を管理するアプリケーション)

スマートホンで入力、閲覧が出来るため外出先等でも関係者が案件情報をいつでも確認、更新出来る。情報更新が関係者に通知されるため、リアルタイムの情報共有に役立っている。またコメント機能をつけることにより、タイムリーな指示や相談が出来、組織横断のコミュニケーションが容易となった。

「ステータス管理」アプリ



案件ID	案件名	ステータス	納期	金額	作成者
6	ピアサンパン	6.納品済	2017-03-28		
5	神戸西監査 文書 5 件予定稼働	6.納品済	2017-03-31		
3	ゆずりあい 駐車場チラシ印刷	6.納品済	2017-03-31		
2	福祉会だより印刷	6.納品済	2017-03-31		

1 しごと開拓・受注窓口機能・商品等の販路拡大

(1) しごと開拓・受注窓口機能

しごと開拓員を配置し、年度を通じて行政機関や一般企業へ授産活動の周知としごと確保のための提案、営業活動を実施した。しごと開拓員が、民間企業・団体および国・兵庫県・市町行政機関等への訪問活動を展開した。障害福祉サービス事業所が契約主体となる案件を確保することで事業所の工賃アップ及び自立的運営を加速させて行くために、兵庫県圏域の地域調整窓口との連携協力も行った。兵庫セルフセンターが契約の主体となり獲得した受注実績は別紙 1、2 の通りである。

(2) 神戸ふれあい工房の運営

兵庫セルプセンターが運営受託をして13年目となった今年度は、神戸市役所2号館へ移転し、2周年を迎えた。年間総売上額は前年度を下回る実績となったが、フェア等の企画・インターネット販売・バザーイベント等と連携した販売活動を展開し、特に店舗入口にお勧め品や季節商品を展示販売するコーナーを常時継続展開することで、アンテナショップとしての機能をより発展させて行く方向性を示しつつ、店頭売上や各種記念品の受注に結びつく実績もあった。店頭でお昼休みの時間帯に限り、ドリップコーヒーの試飲及び販売を各種フェアや野菜販売と連携し取り組んだ結果、リピーターの獲得につながる機会となった。外商においては、卸販売先（わくわく広場：神戸市中央区）を開拓し、次年度以降の売上増につながる活動も展開出来たと考える。また、あらたな取り組みとして、神戸市役所限定で「ふれあいお届け便」（頒布会）を実施し、新規顧客の獲得や新規受注につながった。

■ 神戸ふれあい工房で実施した販売促進企画・フェア等

① 入学・入園おめでとうフェア	3月28日(月) ～ 4月15日(金)
② 子どもの日フェア	4月18日(月) ～ 4月28日(木)
③ 母の日フェア	4月20日(水) ～ 5月6日(金)
④ 父の日フェア	6月 6日(月) ～ 6月17日(金)
⑤ 移転2周年記念フェア	6月16日(木) ～ 6月30日(木)
⑥ 夏ギフト販売フェア	7月 5日(火) ～ 8月5日(金)
⑦ 夏休みフェア(工作キット等)	7月11日(月) ～ 8月26日(金)
⑧ 敬老の日フェア	9月 1日(木) ～ 9月16日(金)
⑨ お菓子もりもりハロウィンフェア	10月 3日(月) ～ 10月31日(月)
⑩ 冬ギフト販売フェア	11月24日(木) ～ 12月9日(金)
⑫ クリスマスフェア	12月 1日(木) ～ 12月22日(木)
⑬ バレンタインフェア	2月 1日(水) ～ 2月13日(月)
⑭ ホワイトデーフェア	3月1日(水) ～ 3月13日(月)



(3) インターネットを活用した販路拡大

インターネットショップ「+NUKUMORI」を、インターネットを通じた販売チャネルとしてだけでなく、営業活動時に+NUKUMORIのパフレット等を切り口とした提案活動を活用することで下請け作業等の他案件の獲得にも繋がる事例もあり、当サイトを運営・活用することで県内授産商品の販路拡大と仕事の確保に繋がっている。

今年度は、県民だよりひょうごのプレゼント企画において、季節に応じた商品を吟味し掲載することで、ネット以外の電話、FAX 等での注文獲得が増加した。陶器等を飲食店経営者にまとめて購入して頂いた事例もあった。インターネットは活用するが買い物をするところまでには至らない消費者が多いことも実感し、インターネット、紙媒体、放送媒体、店頭、イベント等で広く事業所商品のPRをして行くことが販路拡大につながると再認識出来た。更には、当サイトと県内授産商品の質の向上を目的に、当法人配置の技術向上指導員及び他団体に配置された技術向上指導員と連携し、掲載商品増加のための施設への提案活動や商品改善にも取り組んだ。

～ 県民だよりひょうごのプレゼントクイズでの商品掲載及び紹介（平成 28 年 9 月号より） ～

プレゼントクイズ

メタボリックシンドロームとその予備軍を発見するための健診は何でしょう。A～Cの中から選んでください。(〇〇健康診査)

A特別 B特定 C限定

1～3面を読んで答えよう!

応募方法

クイズの答え、希望するプレゼント(番号と名前)、住所、氏名、電話番号、感想を記入し、9月30日⑤(消印有効)までに④⑤⑥で県広報課 県民だより「プレゼントクイズ」係 650-8567(住所不要) ⑦078 (362)3903 ⑧dayori@koho.pref.hyogo.lg.jpへ。

正解者の中から抽選でプレゼント

① 栗の箸置き (2個セット)	5人
② ピッコロ劇団「砂壁の部屋」 (10月29日±18時公演分ペア招待券)	3人
③ 県の特産品 (五つ星ひょうご選定商品)	3人



栗の箸置き
神戸市の障害福祉事業所「ピータンハウス」で一つ一つ手作りされた陶器の箸置き。クリが2つ並んだかわいらしい形で秋の食卓にぴったりです。1個162円(税込み)。
⑨NPO法人兵庫セルプセンター
⑩078 (414) 7311 ⑪078 (414) 7312
+NUKUMORI 掲載

※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。また、感想は紙面下の「みんなの声」コーナーで紹介させていただく場合があります。ご提供いただく個人情報はプレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します(①は兵庫セルプセンター、③は業者から直接発送します)

こちらからもプレゼントに応募できます

(4) イベント・外販バザー等による販売活動

兵庫セルプセンター・神戸ふれあい工房・+NUKUMORI 等を通じて、各地でのバザーやイベント等の実施または販売活動を展開した。平成 28 年度に兵庫セルプセンター・神戸ふれあい工房・+NUKUMORI 等で実施したイベント・外販バザー実績は別紙 3 の通りである。

(5) 兵庫・神戸ブランド商品の販路拡大

「新しい神戸土産」として、平成 26 年度・平成 27 年度に企業と福祉のコラボレーションにより誕生した「Japanese SAKE cake」と「Japanese SAKE cake “cup style”」を、有馬温泉の旅館やお土産物店等での販売機会の拡大を昨年度に続き実施した結果、年間で 3,800 個を超える販売数となった。

～ 「Japanese SAKE cake」と「Japanese SAKE cake “cup style”」 ～



灘の生一本くり・瑞穂黒松剣菱けし



黒豆・柚子・黒豆&柚子 2 個セット

2 研修及び技術指導等

(1) 製造技術指導

障害者工賃向上促進のための専門人材マッチング事業（兵庫県委託事業）の活動として、各分野（製菓・デザイン・商品企画等）の専門家を、県内事業所に対し派遣アドバイスまたは集合講習等を実施した。本事業の一環において、企業と福祉のコラボレーションの第 3 弾として県内でも多くの事業所が製造に取組むクッキーの商品開発を、有限会社ボック（ボックサン）・株式会社 CUADRO の協力を得て、検討を重ね、2 商品の企画及び商品化を目指した。開発する過程においても、製造事業所に対して企業等の専門家と連携し、製造指導や衛生指導等の支援を実施した。

農業専門家の派遣にも取り組み、専門家派遣を行った事業所の神戸産いちご乾燥加工商品が神戸市中央区の複数箇所で実施された神戸スイーツフェアにおいて、原材料として有名パティシエのスイーツに採用された。

～ 企業と福祉のコラボレーションの第 3 弾商品及び福原シェフによる製造指導時の様子～



～ 神戸産いちご乾燥加工商品および原材料として使用されたスイーツ ～



(2)「スイーツ甲子園」の実施

専門家のアドバイス・審査を通じて、よりよい製品の製造や、継続・安定した生産活動の実現を目的に、スイーツ甲子園を開催した。関西府県の行政、中間支援団体と連携し、他府県事業所の参加を推進することで、関西広域での商品コンテストとして、メディアを通じた一般消費者への授産商品の認知向上を図ることで販路拡大につなげて行くことが出来た。

県内の予選会を経て、よりレベルの高い広域での本選を目指すというステップを参加事業所と共有することで、次年度以降の目標を設定し、商品を改善するといった流れを作ることが出来たと考えている。また、広く県内事業所の製品に対する改善点等の気づきを提供することが出来、県内事業所の底上げにつながると考える。第8回スイーツ甲子園エントリー商品・事業所等は下記の通りである。

① 兵庫県	スイートポテトバター	明石ヴィレッジ（ナチュレ神戸）
② 奈良県	～ほうじ茶かおる～柿しずく	ワークスペースこすもす
③ 大阪府	みどりのいぶき	ワークメイト聖徳園
④ 富山県	かりっこプレミアム	ジョブライフ万葉
⑤ 徳島県	阿波晩茶のホロホロクッキー	障がい者就労支援センターかがやき
⑥ 鳥取県	もりのみキャラメル	あずさパン工房

（グランプリは⑤阿波晩茶のホロホロクッキー、準グランプリは⑥もりのみキャラメルが受賞）

～ エントリー商品写真（一部） ～



（３）発達障害を持つ大学生の就業・生活支援セミナー

大学における発達障害を持つ在学学生に対する各種の支援について共に考えるセミナーを実施した。

第一部のシンポジウムでは、大学・福祉の学生支援における現状を整理しつつ、両者が連動していくためのポイントや新たな資源の可能性について、第二部のグループワークでは、大学の現状と課題を議論した。

日時	平成 29 年 1 月 25 日（水） 14：00～16：45
会場	兵庫県福祉センター1 階多目的ホール
主催	兵庫県健康福祉部障害福祉局
講師	京都大学学生総合支援センター 障害学生支援ルーム チーフコーディネーター(助教) 村田 淳 氏 関西学院大学学生活動支援機構事務部総合支援センター コーディネーター 西岡 崇弘 氏 甲南大学キャリアセンター 次長兼課長 常深 伊公子 氏 NPO法人クロスジョブ神戸 クロスジョブ神戸Ⅱ 就労移行支援事業所生活支援員 松原 崇 氏 社会福祉法人すいせい 学生・就職困難者キャリアサポート事業 +U マネージャー・キャリアコンサルタント 塚田 吉登 氏 新明和ハートフル株式会社 取締役 営業担当 実平 典子 氏 株式会社レック 人事部次長 金岡 由佳 氏
参加者	大学・学校 15 校 ・ 17 名 その他 18 団体・ 29 名

～ セミナー時の様子 ～



（４）アイシングクッキー製造指導セミナー

クッキーやケーキ等の焼菓子の製造に取り組む事業所向けに、既存のクッキー等にアイシングをすることで、商品価値・販売単価の向上、売上増へのチャンス、利用者の新たな仕事への取り組み等に繋がる機会として、講師に東京シュガーアート主催・シュガーアーティストのにいさちこ氏を迎え、アイシングクッキー製造指導セミナーを実施した。16 団体・24 名の参加申込があった。

～ セミナー時の様子 ～



3 旅館業等における障害者雇用のためのインターンシップ事業

兵庫県を代表する観光地である城崎温泉・有馬温泉において、障害者が旅館業での「おもてなし」を学び、普段体験することの出来ない温泉旅館での業務体験を通じて障害者の職域を広げ、一般就労への促進に取り組んだ。今回の取り組みを通じて旅館ホテル経営者及び従事者への将来的な障害者雇用へのきっかけ作りとし、障害者インターンシップ初日には、障害理解を深めるための講演会を開催しました。ユニバーサルツーリズムの視点を含め、企業と福祉が連携しながら企画を進めることで、より広く障害者が社会に参加できる気運を盛り上げ、さらには誰にでも優しく訪れやすい温泉地とすることを目指し実施した。

【城崎温泉障害者インターンシップ事業】

実施期間	平成 28 年 9 月 28 日（水）～29 日（木） 計 2 日間
研修生	5 事業所・6 名
受入企業	川口屋城崎リバーサイドホテル、やなぎ荘、大西屋水翔苑、まつや
主催	兵庫県、兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合、兵庫県身体障害者福祉協会
後援	城崎温泉旅館協同組合、兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合青年部

【有馬温泉障害者インターンシップ事業】

実施期間	平成 29 年 2 月 2 日（木）～3 日（金） 計 2 日間
研修生	11 事業所・23 名 （過去最多）

受入企業	有馬ロイヤルホテル、御所坊、ねぎや陵楓閣、龍泉閣、竹取亭円山、 三津森、平野屋本舗（*）、湯の花堂本舗（*）、有馬せんべい本舗（*）、 有馬リネンサプライ、有馬温泉観光総合案内所	（*）は新規受入企業
主催	兵庫県、兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合	
協力	有馬温泉旅館協同組合、有馬温泉観光協会	
運営	有馬温泉ゆけむりインターンシップ SCHOOL 実行委員会	

～ 【城崎】職業体験の様子 ～



旅館での風呂場清掃



調理場での食事準備



お客様のお出迎え

～ 【有馬】入学式・湯けむりマルシェ・職業体験の様子 ～



入学式



湯けむりマルシェ



炭酸煎餅フレークの計量

4 障害福祉サービス事業（就労継続支援 B 型事業所「マイ・ワーク SELP」）

平成 25 年 3 月に開設した自主事業「マイ・ワーク S E L P」は、4 年目の年度を迎えた。

登録利用者数及び訓練等給付費は前年度に比べ微減であったが、それぞれの利用者ニーズに応じた支援メニューと開設当初のコンセプトである中間支援の要素を活かした事業展開を両立させるべく、サテライトである神戸ふれあい工房を中心とした商品販売会、あるいは古湊事業所を主体とした下請け作業等のコーディネーター役を担い、複数事業所との「共同販売」や「共同受注」を進めた。

月に一度のケース会議においては、理事長・副理事長を講師とした勉強会も併催し、職員の支援スキルの向上に努めた。また今年度も一般就労に繋げることが出来た。（1 名）

5 セミナー・研修の企画及び実施

(1) CBS で働く障がい者施設の取り組み発表会

平成 28 年 4 月より、株式会社 CBS の社会貢献活動の一環として、兵庫県福祉センター内の清掃作業に神戸市内の 2 事業所が取り組んでおり、その活動発表ならびに清掃業における障害者の一般就労と福祉的就労の可能性を考えるパネルディスカッションを実施した。行政・企業・福祉関係者等 24 団体・45 名が参加した。発表会当日の会場で、障害者施設で作られた商品（菓子・雑貨等）販売も行った。

人手不足が顕著である清掃業において、企業サイドも危機感をもって採用活動や業務効率化を進めている。そこで福祉サイドから提案を出来ることは何かを考え、企業とのより良い協働の姿を模索することが本セミナーの企画意図であった。少子化、高齢化が進む日本において全産業が人手不足に陥ることは確実であり、今後も多くの産業分野の企業と協働していく方針である。

～ CBS で働く障がい者施設の取り組み発表会写真 ～



(2) 未来を担う福祉人財（材）セミナー

平成 29 年 3 月 9 日（木）14：00～17：00 に、サービス管理責任者及び管理者候補、リーダー候補等の福祉に関わる方々を対象とした「福祉人財（材）セミナー」を実施した。関係者も含めて 26 団体・43 名に参加いただいた。離職率の高い障害福祉分野においては、企業の手不足以上に人材確保が難しくなるという前提の中で、本セミナーのように障害福祉に関わる人材のモチベーションアップを図る研修や、障害福祉分野の仕事の魅力を外部に発信する企画を今後も展開していく方針である。

～ 福祉人財（材）セミナー写真 ～



開会



講演Ⅰ



講演Ⅱ



パネルディスカッション



ワーク発表



懇親会

6 他団体との共同・連携・協力

行政事業・自主事業・障害福祉サービス事業等の事業推進に際し、各団体との連携協力を実施した。
平成28年度に共同・連携・協力等した団体等は下記の通りである。(順不同)

- 兵庫県社会就労センター協議会
- 兵庫県社会福祉協議会
- 認定 NPO 法人トゥギャザー
- 関西広域ネットワーク (兵庫県・大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・鳥取県・徳島県・富山県の行政担当者及び中間支援団体が参画)
- 日本セルフセンター
- 兵庫県社会福祉事業団
- ひめじ授産振興センターレガール

7 情報発信や事業・商品等の案内及び紹介

ホームページ・Facebook・メール配信等を活用し、各種イベント・セミナー案内及び募集、商品情報等を発信した。また、他団体主催及び実施等の広報活動にも協力した。

2016年度 活動計算書
2016/04/01～2017/03/31
特定非営利活動法人 兵庫セルプセンター

円

科目	金 額		
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費・入会金			
正会員受取会費	405,000		
協力会員受取会費	165,000		
受取会費・入会金合計		570,000	
受取寄付金			
受取寄付金	472,534		
受取寄付金合計		472,534	
受取助成金等			
受取助成金等合計		0	
事業収益			
商品等売上高	57,293,189		
受託料収益	32,052,600		
訓練等給付費収益	16,606,835		
事業収益合計		105,952,624	
その他収益			
受取利息	388		
雑収益	160,889		
その他収益合計		161,277	
経常収益合計			107,156,435
(2)経常費用			
事業費			
【人件費】			
給料手当	25,335,916		
通勤費	956,770		
法定福利費	4,013,088		
福利厚生費	303,375		
【人件費計】		30,609,149	
【その他費用】			
商品等仕入高	45,108,750		
利用者工賃	1,294,777		
旅費交通費	2,296,092		
研修費	63,978		
通信運搬費	2,178,315		
会議費	459,854		
消耗什器備品費	289,963		
広告宣伝費	172,800		
販売促進費	4,704,690		
消耗品費	772,447		
修繕費	274,234		
新聞図書費	12,960		
印刷製本費	1,072,693		
水道光熱費	261,369		
地代家賃	2,837,868		
賃借料	24,370		
会場費	202,860		
保険料	300,624		
交際費	99,707		
諸謝金	2,909,533		
レクリエーション費	85,875		
租税公課	2,328,200		
支払手数料	792,308		
支払寄付金	19,956		
業務委託費	1,350,044		
雑費	65,038		
減価償却費	1,363,995		
【その他費用計】		71,343,300	
事業費合計		101,952,449	

2016年度 活動計算書
2016/04/01～2017/03/31
特定非営利活動法人 兵庫セルフセンター

円

科目	金 額		
管理費			
【人件費】			
役員報酬	1,200,000		
【人件費計】		1,200,000	
【その他費用】			
旅費交通費	79,780		
通信運搬費	1,008		
会議費	124,667		
修繕費	293,430		
新聞図書費	5,364		
会場費	11,600		
保険料	95,350		
諸会費	69,952		
交際費	15,966		
租税公課	2,800		
支払手数料	98,598		
業務委託費	36,000		
雑費	15,400		
【その他費用計】		849,915	
管理費合計		2,049,915	
経常費用計			104,002,364
当期経常増減額			3,154,071
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計		0	
(2)経常外費用			
過年度損益修正損	225,950		
経常外費用計		225,950	
当期経常外増減額			-225,950
税引前当期正味財産増減額			2,928,121
法人税、住民税及び事業税	841,700		
当期正味財産増減額			2,086,421
前期繰越正味財産額			24,795,367
次期繰越正味財産額			26,881,788